

「こんにちは」から始まる国際交流



かにえ国際交流友の会

Kanie International Friendship Association

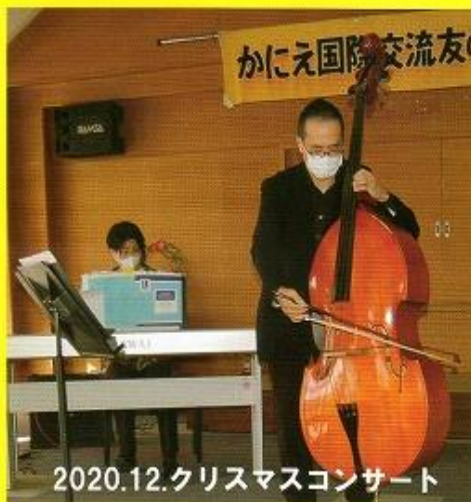
会報 No. 28 (March 2021)



2021.1.「日本語しゃべろう会」書き初め会



救援食料品の提供活動



2020.12.クリスマスコンサート



外国人グループによる蟹江町内観光ルート作成計画



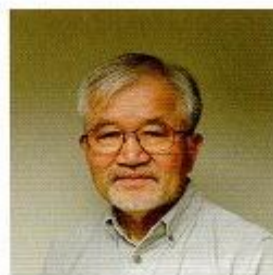
会報目次

- ☆ 会長挨拶：藤田 美保 ☆ 蟹江町長挨拶：横江 淳一
- ☆ 2020年度実施の主要行事一覧
- ☆ クリスマスコンサート当日案内と演奏者紹介
- ☆ クリスマスコンサートの鑑賞記（三編）
- ☆ 「老いて思うこと」三輪恵美子
- ☆ 「KIFAがミャンマー支援を始めてから17年」谷中ひさ子
- ☆ 「蟹江町の思い出」ビャンバ・ムンゾル
- ☆ KIFA英会話教室の紹介
- ☆ 外国人グループと歩いて巡る蟹江町内観光ルート



閑話休題

会長 藤田 美保



皆さんはリチウムについて何をご存知でしょうか。よく知られているのはリチウムイオン電池関連でしょうね。リチウム自体はナトリウムと化学的性質が類似する、つまり同族の金属元素で、その化合物がこの電池内部の正極と電解質の両方に使われています。リチウムイオンが負極から電解質を經由して正極に移動すると放電し、逆に働いて充電でき、非常に性能の高い二次電池となって使われています。

最近では電気自動車用に大型大容量の電池が作られることもあってリチウムの需要が飛躍的に増えています。かつてはほとんど用途の無い元素でしたが秘かにあった大きな需要が軍事用です。それは水素（核融合）爆弾の原料としての需要です。

水素爆弾は水素原子の同位体である重水素（デュテリウム：天然に存在）と三重水素（トリチウム：天然非存在）との核融合反応で出る膨大なエネルギーを利用する爆弾ですが、共に気体で扱いにくく、かつトリチウムは天然には全く存在しないのです。そこでリチウムが大きな役割を果たします。

リチウムと重水素原子の固体化合物（重水素化リチウム）を原子炉内で中性子を当てるとリチウムからトリチウムが生成することにより、デュテリウムとトリチウムが同一の固体化合物を作るのでこれに超高温、超高压をかければ水素の核融合反応が起きます。何がこの物理的状態を作れるか。それができるのは通常の核爆弾（核分裂爆弾／ウラン型あるいはプルトニウム型）のみなのです（以下次号に続く）。

かにえ国際交流友の会への期待

蟹江町長 横江 淳一



KIFAの皆様におかれましては日ごろから地域の国際交流にご尽力いただき、心から敬意を表しますとともに、厚くお礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響により各種事業の実施に大きな影響があった状況下で、感染対策を講じてクリスマスコンサートを開催していただきました。コントラバスとピアノの素敵なハーモニーを堪能するとともに、演奏者の海外生活エピソードも紹介され、和やかな雰囲気の中で交流の貴重な場となりました。

また、日本語しゃべろう会には、公共施設の利用制限により多大なご不便をお掛けしましたが、継続して活動を実施していただき、外国人住民の方々にとって、言葉の勉強のみならず、生活での不安を和らげる場としても機能していただいていることに、改めて感謝申し上げます。

当町では姉妹都市米国イリノイ州マリオン市とのご縁が10周年を迎えましたが、コロナ禍で双方の渡航が叶いませんでした。代わりに、オリジナルのベンチを作成して贈呈し合い、設置することで友好の絆を深めました。今後も、国際交流や多文化共生の事業を推進してまいります。

地域の国際交流の中心として活躍していただいている皆様に改めて敬意を表しますとともに、今後もコロナ禍は続くと思われまますので、無理のない範囲で活動いただき、ご発展を祈念しております。

2020年度に実施した主な行事

開催日	行事内容
2020年 4月 19日（日）	総会、ただし書面上での承認
12月 13日（日）	クリスマスコンサート（産業文化会館）
2021年 3月 13日（土）、14日（日）、21日（日）	『着地型インバウンド観光推進事業』での観光ルート周回
3月 31日（水）	KIFA会報（No. 28）発行

KIFA英会話教室へのお誘い

★★ 講師：ジョン山本先生 第2、第4日曜日（月2回） 場所：中央公民館 ★★

クラスA：午前9:00-10:30

クラスB：午前10:30-12:00

連絡先：黒川邦子 0567-95-6416

K I F A クリスマス会 「コントラバスとピアノによる演奏会」



本日おいでの会員の皆様この間いかがお過ごしでしたか。KIFAはこの4月以降すべてのイベントを中止していましたが、感染防疫体制を取りつつ行事を再開いたします。今回の企画はコントラバスとピアノという珍しい組み合わせによる演奏会です。なお、演奏者の榊原夫妻は愛西市在住の方です。年末のひととき、コロナ禍を忘れて演奏をお楽しみ頂ければ幸いです

コントラバス：
榊原利修
(さかきばらとしのぶ)

2020.12.13. KIFA 会長 藤田美保

ピアノ：
榊原祐子
(さかきばらさちこ)

演奏曲目：

ス・ワンダフル (ガーシュイン作曲)
テネシーワルツ (P.W. キング作曲)
小さなワルツ (クーセヴィツキー作曲)
ユーモレスク (ドヴォルジャーク作曲)
花は咲く (菅野よう子作曲)
山寺の和尚さん
(服部良一作曲 榊原利修編曲)
ホワイトクリスマス (バーリン作曲)
アメージンググレイス
リベルタンゴ (ピアソラ作曲)

コントラバスとは何？

コントラバスは4本または5本の弦を持つ大きな弦楽器で、さまざまな名で呼ばれています。単に「バス」や「ベース」、「ダブルベース」と呼ばれることもあります。エレキベースと区別するためによく使われるのが「ウッドベース」。「コントラバス」と同じくらい浸透している表現なので、コントラバスとウッドベースは楽器です。

日 時： 12月13日(日)、10:00~11:30
場 所： 蟹江町産業文化会館4階大会議室

「クリスマスコンサート私の印象」

ブカ (モンゴル)

榊原利修、祐子ご夫妻によるピアノとコントラバスの演奏会に参加した日は寒い日でした。私はその会場で、何があるのかよく知らなかったし、新型コロナウイルス感染者が増加しているニュースがあったので参加することを少し心配していました。到着した時、窓は開けられて部屋はよく換気され、席の間のスペースが広く取られていたので安心しました。私と夫は席について、蟹江町長によるスピーチを聞きました。

コンサートが始まると、音楽は大変すばらしいものでした！また榊原利修さんによる話が非常に興味深く、彼は才能豊かな音楽家であるだけでなく、真のエンタテイナーでした。コントラバスの弓の長さはバイオリンの弓より短いという彼の話は、私にとって新鮮なことでした。コントラバスはバイオリンよりずっと大きいけれど、弓はバイオリンより短いという事は驚きでした。

私は、どのようにチェコ共和国で彼が彼の妻に出会い、どのように広島に妻の故郷から遠く離れた彼の故郷の愛西市に落ち着くためにやって来たかとい

う彼の話を楽しく聞きました。話の後にも様々な作品の演奏が続きました。ピアノとコントラバスの組み合わせとの調和は、非常に素晴らしいものでした。

コンサートが終わるまで祐子さんは話しをしないので、観客の一人が彼女の話しを聞きたいと頼みました。彼女の慣れた話しぶりと、伊吹山からの風の強さや蚊が多いことで驚いたことについての話は興味深いものでした。

彼女が広島と愛西市についての違いを話した時、私は天候、文化、蚊や味噌に、日本の中のそれぞれの場所で大きな違いがあることを知りました。そして、日本の各地にあるさまざまな独自性ほどの違いはモンゴルにはないことに気が付きました。

榊原夫妻は素晴らしい音楽家というだけでなく本当のエンタテイナーで、私は音楽と彼らの話を楽しむことが出来、その日は素晴らしい日となりました。

私はインターネットで検索して、彼らのホームページ“Sakakibara Music”を見つけました。誰もがそこで彼らの美しい音楽を楽しむことができます。大変な新型コロナウイルス禍のこの時に、明るい楽しい時間を持って、KIFAと榊原夫妻に感謝します。皆様に明るい2021年が来ることを祈ります！
(原文は英語：谷中ひさ子訳)

KIFA クリスマス会

伊藤 澄男

コントラバス、音楽を愛する男ならば、一度は触れてみたいと思うかも知れない楽器。女体を優しく包み込むようなあの演奏姿も格好いい。そしてそこから流れ出るあの腹に響く（重）低音。この楽器を真近で視聴する機会が昨年11月と12月と二度あった。東京でジャズシンガーをしている娘が、11月に名古屋でコントラバス（ウッドベース）とのデュオライブを行った。ライブ前日、大きなベースを抱えた男を連れてきて、一晩泊めて欲しいと…（残念ながら彼にはれっきとした医師の奥方がいる）。ライブ当日、応接間で練習しているその音が心地良く庭に響いた。

そして、二度目は「かにえ国際交流友の会（KIFA）」主催のこのクリスマス会だ。例年ならば、在町外国人参加者による母国料理等を前にパーティーを楽しむところだが、今年はコロナ禍真最中でそうもいかず、じっくりと音楽鑑賞ということになった訳である。

私は今まで一度も KIFA のクリスマス会に参加したことはなかったが、「コントラバスとピアノのコンサート」ということで、妻が音楽好きの私を誘ってくれたのであった。

演奏者は愛西市在住のベーシスト榊原利修氏とピ

アニスト祐子さんご夫妻だ。榊原氏はセントラル愛知交響楽団の楽団長もされている方で、たまたまひと月程前に名古屋の三井住友海上しらかわホールでの演奏を聴いたばかりだった。舞台前列右側の3名のコントラバス奏者中のお一人だったと思う。娘のライブ時のベースは即興演奏という特技を披露して、ジャズアンサンブルの妙技を発揮するものであった。一方、オーケストラにおけるコントラバスは、主旋律を奏でる名曲もあるが一般的には、オーケストラ全体の響きを底支えするという重要な役割を担う、いわば陰の立て役者である。

今回のコンサートのようなカップリングでの演奏を真近で聴くのは初めてのことで、実に素晴らしかった。あの低音の優しい音色が、コロナ禍で塞ぎこんでいた周りを明るく癒してくれた。奥様のピアノとのコラボレーションは息ピッタリ。「テネシーワルツ」「花は咲く」「アメージンググレイス」など盛り沢山。榊原氏編曲による「山寺の和尚さん」もとてもおもしろくて楽しかった。大好きな作曲家の一人ピアノの「リベルタンゴ」も胸にぐっときた。お二人留学中のチェコプラハでの馴れ初めの話等も心に残った。

蟹江町の隣町に、こんなにも素晴らしい演奏家ご夫妻が存在されることを認識できたのも KIFA のお陰である。誠に有難うございました。

コントラバスとピアノのコンサートを聴いて

深山 敦祥

今年のかにえ国際交流友の会の行事は新型コロナの影響でほとんどすべてが中止となり、唯一 KIFA クリスマス会が行われることとなりました。サンタさんから子どもたちへのプレゼントもありません。日曜日の早起きが苦手な人には大変かも知れませんが、12月13日（日）午前10時開演しました。1時間半の榊原ご夫妻によるコントラバスとピアノのコンサートです。

コントラバスは長さ約180cm、重さ約10kgの大きさの低音の出る弦楽器で、ソロ演奏を聴く機会はほとんどありません。榊原利修さんはセントラル愛知交響楽団のコントラバス奏者で楽団長です。奥様は榊原祐子さんで、チェコのプラハでもピアノ教師をされていたピアニストです。

会場となった産業文化会館4階には残念ながらピアノがなく、今回はご自宅からエレクトーンを持ってきていただいたの演奏となりました。直前まで行われていた会場のエレベーターの改装工事が完了し、69段もの階段を自分の足で昇り降りすることなく、楽器・参加者の移動もスムーズにできました。

会場では、マスク着用・入り口での消毒・体温測定・窓を開けての換気・ソーシャルディスタンスをとって、約60の観客席、ステージは同一の高さのフロアーのものでした。いよいよ1曲目 ス・ワンダフル（なんて素晴らしいこと）が始まると、明るく爽やかな雰囲気になりました。拍手！2曲目テネシーワルツ 拍手！…3曲目・・・10曲拍手！ アンコール 拍手！聴くにつれて心が明るくなってきました。

チェコ プラハでのお二人の出会いのお話、愛西市の伊吹おろし、木曾三川が生んだ濃尾平野の肥沃な土壌で収穫されるレンコンや農産物の美味しいこと、又そこにいる網戸なしには語れない蚊の話等もあり、ご夫妻のお人柄のよく表れたお話を聞き、素晴らしい演奏とともに印象に残りました。是非とも大勢の人と一緒に聞きたいものです。

私は1週間後あいさいクラシックコンサートに行く機会があり、そこでも榊原ご夫妻の演奏をオーケストラとともに聴きましたが、それもまた違った感動がありました。JR 永和駅発行の縁起切符は、永和出身の榊原様はご存知と思いますが、永和→金山・鶴舞ゆきです。ご夫妻と皆様に、永く和して金の山に鶴が舞いますように。

KIFA日本語教室「日本語しゃべろう会」の案内

★ 土曜日クラス：毎週土曜日 19:30-21:00

★ 場所：中央公民館（蟹江町役場裏）

連絡先：八神里美 Tel 090-9929-1260

★ 受講料は無料です。

日本語ボランティア講師を募集しています。興味ある方連絡下さい。

老いて思う事

三輪 恵美子

あの暑い日、8月15日ラジオで戦争が終わったことを知り、頭上を平然と飛ぶB29の列を見ないで済む、灯火管制が終了、何か不思議な感情に溢れ、外へ飛び出し大声を挙げた事を思い出します。敗戦後の日本がどんな事態に成るか考えるより、常に押え付けられていたあの暗い毎日より解放された思いが強く、ホッとした行動でした。

終戦後、私の周囲は余り変化無く、学校へ行く事もでき、衣食不十分であっても幸せでした。戦後の日本の発展は目覚ましく、すっかり生活様式も変わり、私も数年後卒業し、初めて社会に出ました。仕事は苛酷、休むことも出来ず、先輩の元で懸命に仕事を覚えました。数年後には土曜・日曜も出来、旅が好きでしたから父の親友だった医師から叱られても、暇を作って海外に出ていました。

硫黄島は船で何度も傍を通る機会を得ました。島



船上から眺めた硫黄島搦鉢山：1944年終戦直前この山で多数の日本兵が玉砕した。

は年を経る毎に整備され、自衛隊・気象関係の人達の事務所、住居、飛行場が出来ましたが、搦鉢山の煙は何を語るのか空に煙を高く靡かせて居ます。或る時、「何だ！この島は」と言った中年の男が居ました。私は驚き、猛烈に怒りが沸き昇りました。多勢の若き兵士が国の為と言いながら、ふるさとを、親を、家族を思いながらここで玉砕した事を知らないのかと、私は思わず殴られる覚悟で、正面から睨み付けました。

何時の世も名も無き人々が無残にも国の為と死に行った事を年と共に忘れ去られ、消え行く事は当然です。特に近年色々な事が急激に進歩変革し、進歩していくのは恐ろしい位です。私等は呆然と立ち竦むのみです。又日本を囲む世界情勢は年と共に難しく成り、あの様な戦に人々が駆り立されないことを切に祈るのみです。

(三輪先生は三輪耳鼻咽喉科医院の元院長です。ミャンマー中心に東南アジアで医療活動を行っているジャパンハートをKIFAは支援しています。この支援金は三輪先生が当会を通して寄付しているものです。この紙面を通じて感謝申し上げます。)



キュランダ（オーストラリア）のコアラ園にて

KIFAがミャンマー支援を始めてから17年

谷中 ひさ子

今年2月1日、ミャンマーで軍事クーデターが起き、大きな犠牲者がでました。民主化が進み、大きく近代化に向けて進み始めていた矢先の出来事。この国の教育や医療に少しでも役立てばと支援を続けてきたKIFAとしては、今後、どうなっていくのかと、大変心配しています。

ミャンマーとKIFAの関係は、2003年2月、会員の服部佐代子さん、鈴木ツタエさん、佐藤博見さんが、ミャンマーに仕事で毎年のように訪問されていた蟹江町在住の磯部正弘さんに案内され、奥地のトウウェンニー小学校を訪問したことが始まりです。KIFAが夏祭りに出店して得た収益金10万円と、たくさんの方の文房具などを持って行かれました。その後、2007年まで毎年、磯部さんに寄付金を託し、それらはヘイホーのピンディアー小学校へ直接届けられていました。

2011年8月、当会会長の藤田を含む4人の会員がそこを訪問して、図書館、トイレ、雨水タンク等、有益に活用されていることを見届けました。私達も歓迎を受け、子ども達と楽しい時間を過ごしたことが懐かしく思い出されます。

2008年～2010年は奥地の小学校支援と合わせて、ヤンゴンにあるエイズ感染児童施設も支援して行きました。2011年8月の訪問時、エイズを罹って親の庇護を受けることが出来ない子供たちはここで育

ち、ここから出ることが出来ないのではないかと心を痛めました。医療の進歩により、エイズも治療薬が開発され不治の病ではなくなっているの、あの子ども達もきっと元気に普通の生活を送ることが出来ていることでしょう。

その際、私達4人はミャンマー中部のマングレーから2時間ほど車に乗り、ザガインワッチェ慈善病院まで吉岡秀人先生を訪ねました。「国際医療NGOジャパンハート」の創始者のご本人に寄付を手渡したときは感無量でした。吉岡医師は、1995年、当時、日本人にとって全く馴染みのない土地で、自分の貯金だけで医療を始めた方です。

KIFAは秋に開催される「かにえ町民祭り」や蟹江住設展示会で出店して支援金の捻出をしてきましたが、ある時、思いがけないことが起きました。耳鼻咽喉科の三輪恵美子先生に、ミャンマー奥地で日本人医師が口蓋裂手術などの医療を行っている話をしたところ、「私は今まで口唇裂口蓋裂の手術を沢山してきていて、そのような場所で医療を行いたいと思っていたので、私がお金を出しましょう」と、驚きの展開です。それが2012年のことで、それから今まで、ずっと三輪先生からの寄付金をジャパンハートへ送っています。

ミャンマーNLD(国民民主連盟)のHIV患者施設へも長年続けていた支援も今は届ける方法が絶たれました。弱者が犠牲になる混乱が治まることを祈るばかりです。

蟹江町の思い出



ロシアから遊びに来た
妹と盆踊り

(左が筆者)

私は 5 年半日本に留学し、その内 3 年半を蟹江町で過ごし、この 3 月中旬に帰国しました。モンゴル人の私が、蟹江町の美しいところ・楽しいイベントの思い出を語りたと思う。

まず、日光川ウォーターパークについて
私自身食べることが大好きで、どうすればあまり太らずに沢山食べられるかを常に考えている。そんな中で有酸素運動の効率良さに気づき、ランニングを始めた。色々なルートを探した結果、日光川ウォーターパークを発見したのである。ある時、早朝に日光川ウォーターパーク周辺を走ってみたところ、鳥の鳴き声・隣を流れる川、そしてラジオ体操をする年配の方々を見て、私の気持ちまでとても晴れやかになったのである。それ以後、頻りに日光川ウォーターパークに行くようになった。そうしたら、またその近所で蟹江町図書館周辺にある木々が季節によって桜も紅葉も見ることがわかり、ついに蟹江町の美しい場所は日光川ウォーターパーク周辺だと発見したのである。

余談ではあるが日光川の橋からみる近鉄の列車

モンゴル人留学生 ビャンバ・ムンフゾル

も、見ていてなかなか面白いいため、蟹江町住民の皆様！お時間ある時にぜひ行って見て欲しいと思う。

次に、夏の盆踊り大会と国際理解講座について
出身国であるモンゴルには、昔ながらの伝統的な踊りがある。その踊りには、「馬の走り」や「乳製品を大事にする」などの仕草が含まれており、モンゴルの文化がよく反映されている。それも、他国の伝統的な踊りにどんな動きが有るのかに非常に興味があった。数年前にホストファミリーの方々に、蟹江町の夏の盆踊りについて教えてもらい、他国からの友達と一緒に参加した。浴衣を着て、髪を整えて参加し、みんなと一緒に踊ったのを今でも覚えている。皆と一体化して踊る、そして盆踊り後のビンゴ大会が外国人の私からみて、非常に楽しかった。

最後にかにえ国際交流友の会 (KIFA) が主催する国際理解講座というイベントも印象深かった。これは、様々な国籍・バックグラウンドをもつ外国人が蟹江町民に対して、母国について話し異文化の母国を理解してもらうというイベントである。本や雑誌を使って自習することと違って、現地のリアルな声が届けられ、さらに現地本場の味を味わえることは大変面白い。

蟹江町が上記のように、様々な美しい場所を有し、町民に対しても面白いイベントを主催してくれることに大変嬉しく思う。ホストファミリー宅での三年半は、楽しい事も辛い事もあったが、感謝！

Good-by 蟹江町。又来ます。

KIFA 英会話教室の紹介

英会話教室が開講されて 10 年が過ぎました。初期の受講者は約半数になりましたが新規入会者もあり、現在の生徒数は 20 名ほどです。

1 部、2 部と時間差で 2 クラスに分かれていて、各々 10 名となっています。前半は季節や最近の出来事に関するフリートーキング、後半の部ではテキストを用いています。

和気あいあい楽しく学んでいます。会員対象の教室ですが、興味ある方一緒に加わりませんか (1 ページの案内も参照して下さい)。



ジョン先生と教室風景

名古屋大学法学部で夏期研修する外国人学生短期ホームステイ

上記研修学生の受入は 2019 年度で 10 年となり、いまや KIFA の定例年間行事です。彼等は各国で日本語と法律を学ぶ優秀な学生で、日本語会話はほぼ問題無しで言葉の壁もありません。この機会に国際交流の経験をされては如何でしょうか。ただ、コロナ禍の昨年は中止になりましたが再開の折には皆様からの受入れ応募をお待ちしています (会員外の方でも可ですのでどうぞよろしくお願ひします)。

蟹江町観光ルート巡り!

蟹江の魅力発掘イベント

谷中 ひさ子

蟹江町が主催し、実際の業務を行う「蟹江町観光交流センター 祭人」に協力を依頼されたのが今年の7月。資料には「着地型インバウンド観光推進事業」とあり、流行語となっている「インバウンド」と言えば「訪日外国人観光」、その「着地型」とは何のこと?戸惑いが先に立ったものの、何やら未体験の楽しいことが起きそう、と思いました。

9月にブラジル、中国、ベトナム、ミャンマー、フィリピンなど、11か国69名の在住外国人の方の協力を得てアンケートを実施。質問の内容は、日本について、蟹江町について、日本の生活についてなどでした。日本語を英語、中国語、ミャンマー語、ベトナム語、ポルトガル語などに翻訳し、アンケートの結果を各国の言葉から日本語へ。予想外の手間暇に音を上げそうでしたが、日本、日本人、蟹江町について多くの好意的な答えに励まされ、やり終えることが出来ました。

アンケート結果を基に「祭人」が蟹江町内観光ルートを作成、出来た3コースを5人～10人の外国人、KIFAのメンバー、「祭人」のスタッフらと3月に町歩きを実施。町歩きの最後に町内のレストラン等で食事をしながら感想の聞き取りをする予定でしたがコロナ禍で出来ず、お弁当の持ち帰りに替えたことは残念でしたが、持ち帰って食べた外国人には「美味しかった!」と喜んでいただけました。

参加者からの感想を「祭人」のスタッフがまとめて「在住外国人による蟹江町観光ルート」が策定される予定です。外国から蟹江町を訪問した人たちが、このルートを歩いている姿を早く見たいものです。

観光ルート作りに参加して

伊藤 恵津子

2021年3月21日蟹江町役場で集合。ベトナム人参加者が楽しみにしていた魚釣り・街歩きは、雨の為中止になりました。場所を「泉人」に移動し、質問や意見交換をし、他国の知らない事を色々知ることが出来ました。

ベトナム語での蟹江町内を紹介する冊子を用意して頂き、内容は町の色々が分かり易くなっており、喜んでくれたと思います。その後、足湯でリラックスタイム。期待していた魚釣りが出来なかったのがとても心残りの様子でした。又、機会があるように願っています。(「二十一日午前魚釣りと足湯コース」写真は表紙にもあります)



十三日午前お寺体験と蟹江町観光交流センター見学コース(ベトナム)



十三日午後尾張温泉で入浴体験コース(フィリピン)



十四日午前お寺体験と蟹江町観光交流センター見学コース(ブラジル)



十四日午後尾張温泉で入浴体験コース(中国)





← KIFAホームページ

イベントなどの開催情報や各種の案内状が載っていますのでご覧下さい。

世界の国旗： ウクライナ共和国



1848年に黄色と青の横二分割旗がウクライナ民族の旗として決められました。

この二色は、古くから紋章や旗に使われてきた色です。青は空、黄色は実った小麦を表すとも、青は水、黄色は火を表すともいわれます。

2021年度の主な年間行事予定

日時	行事
2021年4月18日	総会、懇談会 (未定)
2021年度前期分の行事は予定無し	
(以下の行事についても開催の可否・期日等は未定です)	
10月9, 10日	かにえ町民まつり出店参加
12月12日	クリスマスパーティー開催
2022年2月中旬	国際交流関連事業
3月末	会報 (No. 29) 発行予定

KIFA主催の通年教室 (講座)

- 日本語教室 (無料、外国人向け)
- 英会話教室 (有料、会員向け)

本会報中に教室の案内があります。

ご協力ありがとうございました。引き続きご支援をお願いします。

企業会員

蟹江住宅設備 (株)	蟹江ライオンズ倶楽部	(株) クリントック
------------	------------	------------

賛助会員

イソベ商事 (株) 湯元館	宇佐美自転車商会	松屋呉服店	甘強酒造 (株)
月星歯科クリニック	日光鋳工場 (株)	サハシ特殊鋼 (株)	(株) 若菜
(株) 大丸プレス鋼業	(有) 河野板金	呉服専門の店 いとり	(有) 近藤住建
(株) 綿新商店	きもの処 まるい	愛知黎明高校	和食処 菜も屋
珈琲屋らんぷ蟹江店	(有) 石黒プレス工業所	平野建鉄工業株式会社	伊藤書道教室
愛西センターレス工業	(順不同です。2021年度加入予定の会員も含まれます。)		

☆☆ 編集後記 ☆☆

KIFA会報は通常年1回、3月末に発行されます。その内容は当会の年間行事関連報告等と、広い意味での「国際交流」関連の寄稿記事を中心に構成されています。記事等は常時受け付けていますので、どうぞ右記の連絡先までお寄せ下さい (ふ)。

発行：かにえ国際交流友の会

会長：藤田美保

TEL: 0567-95-9724

E-mail: fujita@nsc.nagoya-cu.ac.jp

連絡先：蟹江町役場政策推進室内
〒497-8601 蟹江町学戸3丁目1番地
TEL: 0567-95-1111, FAX: 0567-95-9188